



聖公会大学校

Sungkonghoe University



大韓民国

ホームページ <http://skhu.ac.kr/main.aspx>

交流協定締結年月日：2016年5月25日 主管学部：経済学部



国際交流の特色

聖公会大学校は、1914年に聖ミカエル神学院として設立され、1994年に聖公会大学校と改称された。1995年には世界聖公会大学校協議会の会員校として加入し活動している。聖公会大学校は3系列（学部）で、規模は大きくないものの、韓国社会で最も影響力のある大学のひとつとして定評があり、「NGO大学」とも呼ばれるほど、学外の多くの市民団体と密接なネットワークを形成しているユニークな大学である。

交流実績（平成29～31年度）

年度	H29	H30	H31
学生・派遣			
学生の受入	5	11	0
学生の派遣	14	8	0
研究者・職員の受入	1	3	0
研究者・職員の派遣	3	3	0

学生からの声

●2018年度（2018年9月～2019年7月）派遣交換留学
 聖公会大学は仁川に近いソウル郊外に位置しているため、騒がしすぎず落ち着いた地域にあります。地下鉄駅も学校から徒歩10分程度のところにあり、繁華街までは地下鉄に乗って3、40分程度で行けるので休日などは買い物などにすぐ出かけることができます。学校自体は小さく、生徒や留学生はそこまで多くはありませんが、一方で教室移動が楽であったり、留学生だということでも珍しがってもらえるため、教授や生徒たちがよく気を遣ってくれたりするなど、利点もたくさんありました。語学堂は秋学期のみ通いましたが、様々な国籍の生徒と友達になることができました。大学の授業は日本の政治やメディアコンテンツ、女性運動史などの授業を受けました。韓国語で韓国人の生徒と共に受ける授業のため、ついていくのが大変で資料や論文を読むのも時間がかかりましたが、授業で出会った友達や先生が助けてくれたり、自習室ですっと勉強したりして単位を取ることができました。現地の学生の勤勉さや意識の高さに圧倒されることもありましたが、そういった環境の中で頑張れたことで自分を成長させることができました。（経済学部3年 加藤七海）

●2017年度経済学部「海外研修（韓国）」履修者
 私は1年生の時から韓国語を履修しており、韓国語で語学研修をずっとしたいと思っていて、今回ようやく行くことができました。初めての海外研修でとても緊張しましたが、聖公会大学の方々はとても親切で、授業もわかりやすく楽しく参加できました。韓国語授業は2人の先生によって行われますが、どちらの先生も生徒1人1人をよく見てくれました。少人数クラスということもあり、個別に発言する機会が多く、韓国語をたくさん使うことができたのがよかったです。最初は韓国語で話されること全て理解するのは難しかったですがだんだん耳も慣れ、わかるようになっていきました。フリータイムでは色々なところに旅行で楽しかったです。2週間という短い期間でしたが私にとって良い経験になりました。（経済学部3年 中村紗理奈）

教員からの声

2016年に国際学術交流協定を締結し、聖公会大学と本学経済学部の間では、教員レベルの学術研究交流や学生レベルの教育交流が進められています。

早速、2017年度より、経済学部では、初修外国語で韓国語を学んだ学生を対象に、夏季集中科目「海外研修（韓国）」科目を設置しました。2017年度は6名、2018年度は3名の香川大学の学生がこの科目を履修して、聖公会大学で8月初旬から中旬の2週間にわたり、韓国語レッスン、韓国文化体験、日韓学生コミュニケーション等のプログラムに参加しました。香川大学の学生たちは、聖公会大学キャンパス内の学生寮に宿泊し、プチ留学を体験することができました。

また、2018年8月には、経済学部生1名（3年生）が聖公会大学へ1年間の交換留学に出発し、短期研修だけではなく長期留学を通じた学生交流も行われています。

2017年6月には、大学間のグローバル教育プログラム作りを目的として、聖公会大学の張教授が経済学部を訪問されました。今後、ますます学生交流、教育・研究交流が盛んになっていくと思います。

経済学部教授 宮島美花